

令和4年度 事業報告

I 公益目的事業会計

1 農業支援事業

農作業の省力化、生産性の向上、優良農地の確保等を図るため、地域の実情に応じた農作業の支援を行う。

(1) 機械作業事業

①機械作業委託事業

【内 容】地域の実情に応じ、農作業を受託組合や機械を所有するオペレーターへ仲介・あっ旋し農家の支援を行う。

【事業量】

令和4年度 受託者82者（受託組織16・個人66）、利用農家2,125戸

（令和3年度 受託者93者（受託組織16・個人77）、利用農家2,191戸）

内 訳		令和3年度		令和4年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	田 植 え	83 ha	79.4 ha	80 ha	66.9 ha	△ 13.1 ha	84%	84%
	代 掻 き	75 ha	72.1 ha	73 ha	69.7 ha	△ 3.3 ha	95%	97%
	耕 起	60 ha	57.4 ha	60 ha	51.0 ha	△ 9.0 ha	85%	89%
	防 除	45 ha	33.2 ha	35 ha	34.9 ha	△ 0.1 ha	100%	105%
	小 計	263 ha	242.1 ha	248 ha	222.5 ha	△ 25.5 ha	90%	92%
	水 稲 苗	12,000 枚	9,397 枚	10,000 枚	12,223 枚	2,223 枚	122%	130%
秋	耕 起	25 ha	21.4 ha	20 ha	18.9 ha	△ 1.1 ha	95%	88%
	米 収 穫	110 ha	114.5 ha	116 ha	116.2 ha	0.2 ha	100%	101%
	そば 収 穫	2 ha	0.0 ha	1 ha	0.9 ha	△ 0.1 ha	92%	
	小 計	137 ha	135.9 ha	137 ha	136.0 ha	△ 1.0 ha	99%	100%
	粃 運 搬	550 t	571.6 t	550 t	536.0 t	△ 14.0 t	97%	94%
合 計		400 ha	378.0 ha	385 ha	358.5 ha	△ 26.5 ha	93%	95%
		12,000 枚	9,397 枚	10,000 枚	12,223 枚	2,223 枚	122%	130%
		550 t	571.6 t	550 t	536.0 t	△ 14 t	97%	94%

【決 算】

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較	(執行率)	前年比
歳入	手数料	3,900,000	2,559,443	3,276,000	2,602,112	△ 673,888	79%	102%

考 察	農家の高齢化や後継者不足により、不耕作地が増加しているため、作業面積は減少している。 (平成24年度をピークに減少傾向)
-----	---

(2) 農作業お手伝いさん事業

【内 容】 農作業お手伝いさんにより繁忙期の果樹作業等の支援を行う。

【事業量】

令和4年度 お手伝いさん 199名、利用農家 393戸
 (令和3年度 お手伝いさん 195名、利用農家 359戸)

内 訳		令和3年度		令和4年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	50,000 時間	36,213 時間	45,000 時間	42,461 時間	△ 2,539 時間	94%	117%
	ぶどう	9,000 時間	11,158 時間	10,000 時間	12,569 時間	2,569 時間	126%	113%
	もも	5,000 時間	6,142 時間	6,000 時間	6,998 時間	998 時間	117%	114%
	なし	1,000 時間	667 時間	1,000 時間	1,033 時間	33 時間	103%	155%
	その他	8,000 時間	2,501 時間	8,000 時間	3,127 時間	△ 4,873 時間	39%	125%
	小計	73,000 時間	56,681 時間	70,000 時間	66,188 時間	△ 3,812 時間	95%	117%
秋	りんご	36,000 時間	27,324 時間	36,000 時間	31,223 時間	△ 4,778 時間	87%	114%
	ぶどう	150 時間	122 時間	150 時間	114 時間	△ 37 時間	76%	93%
	なし	100 時間	0 時間	100 時間	0 時間	△ 100 時間	0%	0%
	その他	3,000 時間	1,594 時間	2,000 時間	818 時間	△ 1,183 時間	41%	51%
	小計	39,250 時間	29,040 時間	38,250 時間	32,154 時間	△ 6,097 時間	84%	111%
合計		112,250 時間	85,721 時間	108,250 時間	98,342 時間	△ 9,909 時間	91%	115%

【決算】

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較	(執行率)	前年比
歳入	利用料	116,254,000	90,627,585	117,058,000	106,462,251	△ 10,595,749	91%	117%
歳出	賃金	95,920,000	76,315,146	98,000,000	90,439,843	△ 7,560,157	92%	119%
	通勤手当	2,220,000	1,670,400	2,220,000	1,937,520	△ 282,480	87%	116%
	合計	98,140,000	77,985,546	100,220,000	92,377,363	△ 7,842,637	92%	118%

考 察	耕作面積が減少傾向であるが、本年度は、主な自然災害も無く順調に推移した。
-----	--------------------------------------

農作業員(お手伝いさん)講習会

【内 容】 農作業お手伝いさんの作業内容についての理解促進や技術向上を図るとともに、事故防止、安全管理を徹底するための講習会を開催する。

【事業量】

令和3年度			令和4年度		
	計画	実績		計画	実績
回数	20 回	14 回	回数	20 回	16 回
人数		259 人	人数		299 人
前年比(人数)		60%	前年比(人数)		115%

令和3年度			令和4年度			
月 日	場 所	参加者	月 日	場 所	参加者	内 容
4月7日(水)	川中島	11 人	4月7日(水)	長野平	15 人	事業説明会
4月8日(木)	長野平	7 人	4月8日(木)	川中島	17 人	〃
4月19日(月)Am	若穂	9 人	4月25日(月)Am	若穂	11 人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月19日～20日	若穂	61 人	4月25日～26日	若穂	60 人	目揃会(リンゴ花摘)
4月21日(水)Am	長沼	4 人	4月27日(水)Am	長沼	12 人	新人実技研修(リンゴ花摘)
4月21日～22日	長沼	108 人	4月27日～28日	長沼	102 人	目揃会(リンゴ花摘)
5月10日(月)Am	真島	8 人	5月16日(月)Am	真島	8 人	新人実技研修(桃摘果)
5月10日(月)Pm	真島	8 人	5月16日(月)Pm	真島	8 人	〃 (リンゴ摘果)
5月19日(水)	赤沼	5 人	5月23日(月)	赤沼	9 人	〃 (リンゴ摘果)
5月25日(火)	若穂	16 人	5月27日(金)	若穂	9 人	〃 (ブドウ房切り)
6月9日(水)	真島	8 人	6月10日(金)	真島	7 人	〃 (桃袋掛け)
9月7日(火)	赤沼	5 人	6月23日(木)	若穂	6 人	〃 (ブドウ房摘粒)
9月14日(火)	真島	4 人	9月7日(火)	赤沼	9 人	〃 (リンゴ中生種葉摘)
9月28日(火)	真島	5 人	9月8日(木)	中御所	5 人	南部事業説明会
			9月16日(金)	真島	11 人	リンゴ中生種葉摘
			9月28日(水)	真島	10 人	リンゴふじ葉摘
合 計		259 人	合 計		299 人	

考 察	春先の春期農作業安全研修会(屋内)は新型コロナウイルス感染防止のため中止したが、新人実技研修会と作業講習会を実施した。 また、春夏・秋期の農作業安全パトロールの際には、利用農家及びお手伝いさんへ事故防止等の啓発活動を行ったが、5、6、10、11、12月の作業中に5件の作業事故が生じてしまった。
-----	--

労働保険(労災)事故

令和3年度			令和4年度		
発生期日	発生状況・傷状	性別	発生期日	発生状況・傷状	性別
11月19日	三脚からの落下 右橈骨遠位端粉碎骨折	女	5月31日	圃場において転倒 左膝捻挫	女
			6月7日	圃場不整備	女

10月1日	左恥骨骨折	男
10月21日	不注意 右手拇指挫傷	男
11月18日	転倒 右脛骨骨折	男
12月9日	圃場において枝の跳ね 左眼球損傷	男

(3) 専門作業事業

【内 容】 農家の剪定作業を専門作業員に委託する。

【事業量】

令和4年度 作業員84名、利用農家191戸
(令和3年度 作業員87名、利用農家199戸)

内 訳		令和3年度		令和4年度				
		計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
春	りんご	50 時間	34 時間	50 時間	240 時間	190 時間	480%	706%
冬	りんご	3,800 時間	3,576 時間	3,800 時間	3,199 時間	△ 601 時間	84%	89%
	ぶどう	400 時間	0 時間	400 時間	0 時間	△ 400 時間	0%	—
	もも	800 時間	1,173 時間	800 時間	955 時間	155 時間	119%	81%
	なし	150 時間	0 時間	150 時間	0 時間	△ 150 時間	0%	#DIV/0!
	小計	5,150 時間	4,749 時間	5,150 時間	4,154 時間	△ 996 時間	81%	87%
合 計	5,200 時間	4,783 時間	5,200 時間	4,394 時間	△ 806 時間	84%	92%	

【決 算】

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較	(執行率)	前年同期比
歳入	手数料	600,000	290,420	462,000	277,948	△ 184,052	60%	96%

考 察	全体的には、例年通りである。
-----	----------------

(4) 農福連携事業

【内 容】 農業分野の労働力不足と福祉分野の就労機会不足など、双方の課題解決に向けて農福連携の取り組みを推進する。農業公社に専任職員を配置し、障害者就労支援施設等と連携しながら農作業お手伝いさんを育成し、農家へ派遣する仕組みをつくる。

【事業量】

①農業者（作業依頼者）や障害者施設（作業請負者）等の開拓

	令和3年度	令和4年度
請負登録施設	14施設	19施設

②農作業技術研修会の企画・実施（果樹・野菜等）

	令和3年度	令和4年度
作業体験会	5回	6回
安全講習会	1回	1回

③農作業の依頼に対するマッチング、派遣

	令和3年度	令和4年度
マッチング	40件	57件

④その他

- ・事業所（福祉施設）の活動視察 20回
- ・市民への広報活動 ニュースレター「農福連携のススメ」の発行、SNSによる活動報告

考 察	本年度、新たに請負登録施設が5施設登録となった。
-----	--------------------------

(5) 農業法人化事業

【内 容】 地域グループの法人化に向けた農業経営の支援を行うとともに、設立及び増資に対する出資や助成を行う。

出資：出資総額又は、資本金の2分の1未満で、500万円を限度（一般農業法人対象）

助成：出資総額又は、資本金の2分の1未満で、250万円を限度（農事組合・農業生産法人対象）

【事業量】

	令和3年度	令和4年度
出資・助成	(出資) 0法人	(出資) 0法人

考 察	既出資事業6件5社のうち、1件1社の事業が終了した。
-----	----------------------------

(6) 農業法人等育成事業

【内 容】 農業法人等が、公社が集積した農地を一定期間借地し、農業生産の拡大を図れるよう、固定費の一部を助成する。

【事業量】

	令和3年度		令和4年度				
助成	計画	実績	計画	実績	計画との比較	(実施率)	前年比
	20 ha	0 ha	20 ha	0 ha	△ 20 ha	0.0%	0.0%

考 察	平成30年度以降、法人化への相談も減少している。
-----	--------------------------

2 農地対策事業

農地の効率的活用に向け、その集積を促進し貸付けることにより、多様な担い手が安定的かつ継続的な農業経営が行える支援を行う。また、優良農地の保全及び遊休農地の増加防止を図る。

(1) 農地利用集積円滑化事業

【内容】 農地所有者からの貸付希望により公社が借受し、認定農業者や法人等を中心に貸し付ける。

【事業量】

内 訳	令和2年度	令和3年度			令和4年度		
	年度末保有面積 (a)	計画	解約及び移 行面積 (a')	年度末保有 面積(残) (a-a'=b)	計画	解約及び 移行実績 (b')	3月末保有 面積(残) (b-b')
賃貸借契約 (有償)	153.0	100.0	130.3	22.7	22.7	9.4	13.3
使用貸借契約 (無償)	31.8	20.0	28.0	3.8	3.8	1.7	2.1
合 計	184.8	120.0	158.3	26.5	26.5	11.1	15.4

(単位:ha)

【決 算】

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較 (執行率)	前年比	
歳入	賃 貸 料	5,300,000	5,421,726	4,240,000	1,647,096	△ 2,592,904	39%	30%
歳出	賃 借 料	5,300,000	5,421,726	4,240,000	1,647,096	△ 2,592,904	39%	30%

考 察	令和2年4月1日から円滑化事業が廃止となり、農地中間管理事業への移行により保有面積は減少している。なお、現在、農地中間管理事業は、円滑化事業と違って、抵当権の設定がされていると契約できない等の条件があるため、移行できない農地がある。契約状況により手続きを進めていく。
-----	---

(2) 農地中間管理事業

【内容】 農地中間管理機構が農地を借り受け、認定農業者や農業法人等の担い手に貸付けることで、経営規模の拡大や作業の効率化を図り、農地の集積・集約化を促進する。

【事業量】

		令和2年度 以前の保有 (A)	令和3年度			令和4年度		解約・面 積変更等 (E)	総 計 (C+D-E)
		計画	契約 面積(B)	年度末保有 面積 (A+B=C)	計画	契約面 積(D)			
賃貸借契約 (有償)	移行等	188.8	100.0	86.4	275.2	22.7	23.4	△ 5.5	616.6
	新規	-	50.0	44.3	44.3	62.0	43.4		
使用貸借契約	移行等	122.8	20.0	56.1	178.9	3.8	3.1		

(無償)	新規	-	30.0	23.9	23.9	26.0	29.9		
計		311.6	200.0	210.7	522.3	114.5	99.8	△ 5.5	616.6

(単位:ha)

令和4年度(12月期)契約実績内訳

▽中間管理事業 (99.8ha)					
古里地区	8.1ha	芋井地区	0.0ha	豊野地区	3.7ha
柳原地区	2.1ha	篠ノ井地区	12.1ha	戸隠地区	8.2ha
浅川地区	1.4ha	松代地区	4.6ha	鬼無里地区	0.2ha
大豆島地区	2.1ha	若穂地区	20.3ha	大岡地区	0.7ha
朝陽地区	3.4ha	川中島地区	3.6ha	信州新町地区	0.6ha
若槻地区	6.3ha	更北地区	8.8ha	中条地区	1.5ha
長沼地区	11.5ha	七二会地区	0.0ha	その他	0.5ha
小田切地区	0.1ha	信更地区	0.0ha		

考 察	円滑化事業から農地中間管理事業への移行が概ね完了したため、本年度の契約は減少している。
-----	---

(3) 令和元年東日本台風による被災農地の復旧・復興事業

(令和5年3月31日現在)

地区	貸出希望	借受口頭内諾	自耕(耕作中)	2者契約	既に契約中	合計	未契約等
北部地区 (長沼・古里) (柳原・豊野)	24.32	10.95	6.85	3.02	2.03	22.85	1.47
篠ノ井地区	8.37	3.68	1.72	0.53	1.15	7.08	1.29
松代地区	1.25	0.24	0.49	0.00	0.00	0.73	0.52
若穂地区	0.88	0.18	0.39	0.26	0.00	0.83	0.05
合計	34.82	15.05	9.45	3.81	3.18	31.49	3.33

(単位:ha)

※「借受口頭内諾」は、農業公社にて利用権設定が口頭により確認できたもの（今後、公告予定）

※「2者契約」は、農地所有者と耕作希望者の双方で合意となったもの

※「既に契約中」は、これまでの権利設定を継続するもの

考 察	「残り」3.33haのうち2.63haは、荒廃農地であり、耕作が不可能な状態である。今後、残った貸出希望地は農業委員等と相談しながら、荒廃の減少に努める。
-----	---

(4) 市民農園管理運営事業

【内容】 市民の農業に対する理解促進や、収穫の喜び・健康増進を図るため、土に親しむ場として、農園及び菜園を提供する。

【事業量】

① 市民菜園 総面積 74,005㎡ （令和3年度 76,424㎡）

内 訳	令和3年度				令和4年度			
	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率	開設数	設置区画数	利用区画数	利用率
計 画	76	1,061	1,061	100%	76	1,061	1,061	100%
年度実績	76	1,061	957	90%	72	985	830	84%
前年比	95%	96%	97%		90%	93%	87%	

② 市民農園 総面積 12,990㎡ （令和3年度 12,990㎡）

農園名	令和3年度			令和4年度		
	設置区画数	利用区画数	利用率	設置区画数	利用区画数	利用率
松代東条	30	26	87%	30	30	100%
篠ノ井小森	27	26	96%	27	26	96%
信更安庭	47	11	23%	47	11	23%
篠ノ井青池	34	14	41%	34	22	65%
合計	138	77	56%	138	89	64%
前年比	100%	77%		100%	116%	

【決 算】

① 市民菜園

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較	(執行率)	前年比
歳入	利用料	3,800,000	3,437,100	3,800,000	3,344,250	△ 455,750	88%	97%
歳出	管理指導料	3,117,484	3,003,135	3,117,484	2,871,841	△ 245,643	92%	96%

【決算】

① 市民農園

(単位:円)

		令和3年度		令和4年度				
		予算	決算額	予算	決算額	予算との比較	(執行率)	前年比
歳入	利用料	619,000	696,888	619,000	687,402	68,402	111%	99%
	受託料	1,457,000	1,457,000	1,457,000	1,457,000	0	100%	100%
	合計	2,076,000	2,153,888	2,076,000	2,144,402	68,402	103%	100%
歳出	管理組合委託料	576,000	596,000	616,000	596,000	△ 20,000	97%	100%
	光熱水費	218,000	213,886	190,000	224,737	34,737	118%	105%
	修繕	100,000	0	100,000	0	△ 100,000	0%	0%
	合計	894,000	809,886	906,000	820,737	△ 85,263	91%	101%

考察	市民菜園については、利用率は前年度から減少している。 市民農園については、利用促進に向けた周知活動を行ったこと等により、利用率が増加している。
----	--

3 マーケティング開発事業

農畜産物の生産安定・品質向上を図るため、企業と連携した加工や需要に対応した農業生産を促進する。また、ホームページ等により、広く公社のPRを行い、また会員情報により商談機会を創出し、スピーディーな情報提供・発信を行う。

(1) 広報宣伝事業

【内 容】 消費者、流通事業者、生産者の情報共有のため各種イベント等へ参加する。公社ホームページを活用し、広く公社事業及び会員のPRを行う。

【事業量】

① 広報宣伝活動、PRイベントへの参加（年度計画：10件参加）

- 4月～12月 SBCラジオ「坂ちゃんのずくだせえぶりでい」インフォーマーシャル
- 5月1日（日） 山菜・ジビエフェア（セントラルスクエア）
- 5月21日（土） 山菜・ジビエフェア（セントラルスクエア）
- 6月25・26日（土-日） ながの特産品フェア（セントラルスクエア）
- 9月18日（日） サンライフ長野ホーム祭り
- 10月2日（日） 中部勤労青少ホーム年祭り
- 10月9日（日） 北部勤労青少年ホーム祭り
- 10月22日（土） 長野市農業フェア（ビックハット）

② 「ながのいのち」推進協議会のホームページへの会員情報の開設及び認定商品紹介の追加

③ 「ながの旬チャンネル」 毎月2回更新

(2) 「ながのいのち」推進事業

中山間地の活性化を目的に策定した地域ブランド「ながのいのち」の推進を図る。

① “地産地消ながの”情報交換会

【内 容】 農業者、商工業事業者を対象に、農商工が連携した事業展開を図るため、年明けに研修会・商談会を行うものであるが、今年度も新型コロナウイルス感染予防のため商談会は中止した。その代わり商談シートを当社ホームページに掲載したり、県の商談サイト「しあわせ商談サイトNAGANO」に登録推進することで商談機会の創出を行っている。

② 「ながのいのち」推進協議会への支援

【内 容】 地域の特性・個性を生かした地元農産加工品の販路拡大と地産地消、食育のネットワークの拡大を図るため、農村住民グループと消費者等が設立した「ながのいのち」推進協議会と連携して事業推進を行っている。

【事業量】 推進協議会の主な取組み

- 4月2日（土） 善光寺大勸進御開帳直売市（6月29日まで）
- 4月5日（火） 長野銀座にぎわい市開市（トイゴ広場 12月第2週火曜日まで）
- 4月6日（水） 「さといも善光寺」里帰りを進める会総会・・・コロナのため中止
- 4月8日（金） 長野市荏胡麻振興協議会総会
- 4月22日（金） 「ながのいのち」推進協議会総会
- 5月16日（月） 「さといも善光寺」里帰りを進める会事務局引継ぎ
- 5月18日（水） 荏胡麻振興協議会品種選定試験播種作業
- 7月6日（水） 荏胡麻振興協議会品種選定試験定植作業
- 7月14日（木） 「さといも善光寺」栽培講習会
- 8月4日（木） 澤光青果長野店出荷者懇談会
- 9月5日（月） 荏胡麻振興協議会品種選定試験摘芯作業
- 9月15日（木） 「さといも善光寺」里帰りを進める会役員会
- 9月15日（木） 荏胡麻振興協議会品種選定試験袋掛け作業
- 9月16日（金） 荏胡麻振興協議会役員会

10月12日 (火)	「さといも善光寺」里帰りを進める会目揃え会
10月29日 (金)	長野銀座にぎわい市感謝祭事前説明会 (生涯学習センター)
11月1日 (火)	長野銀座にぎわい市感謝祭 (トイゴ広場)
11月12日 (土)	「さといも善光寺」里帰りを進める会芋煮会 (善光寺大勧進)
12月2日 (金)	「ながのいのち」推進協議会事業検討及び反省会
2月21日 (火)	「ながのいのち」推進協議会役員会
3月10日 (金)	「ながのいのち」推進協議会事業計画検討会
3月14日 (火)	荏胡麻振興協議会役員会
3月17日 (金)	澤光青果長野店出荷者緊急会議
3月29日 (水)	「さといも善光寺」里帰りを進める会役員会

考 察	地域の活性化と商品力強化両面のブランド力を高めるため取り組んだ。
-----	----------------------------------

(3) 「ながのいのち」商品認定制度

市内で生産された優れた農産物や加工品を、「ながのいのち」ブランド品として認定し、消費者の信頼を高め、生産者の意欲増進を語る。

【内 容】 「ながのいのち」商品認定委員会を開催し、商品認定の審査を実施する。

認定委員	高野 豊 (長野市農業公社アドバイザー)
	横山 タカ子 (料理研究家)
	中澤 弥子 (県立大学教授 食健康学科長)
	竹内 正彦 (JAグループ長野県農工研農業開発研究部 技術専門役)
	櫻井 伸一 (長野市農林部長)

【事業量】

第1回審査会 (令和4年7月4日) 3団体8商品認定

審査商品名	結果	認定団体
辛味大根 平成キムチ	認定	株式会社 平成農園
サフオーク餃子 (3種)	認定	
信州ひとりむすめあん	認定	
むすめ最中	認定	
大豆あんこ入りおやき	認定	有限会社 さんやそう
えごま米粉クッキー	認定	
りんご米ぬかクッキー	認定	
ぱりときゅうり	認定	竹内治男

第2回審査会 (令和4年11月10日) 4団体10商品

審査商品名	結果	認定団体
信州・小森丸なすジュレ	不認定	NPO法人 信州・川中島平ファクトリー
鹿ジャーキー	認定	eternal story 株式会社
小梅漬け	保留	株式会社 B S G
小梅の甘漬	保留	
原木乾舞茸	認定	
原木舞茸パウダー	認定	
大根粕漬	認定	漬物工房 とうふくじ
茄子粕漬	認定	
大根つぼ漬	認定	

いぶり大根	認定
-------	----

考 察	第2回審査より、審査員の指摘事項（添加物・表示など）への対応可否が認定の条件として厳格化した。その対応の結果が出るまでは認定を保留とした。
-----	---

商品認定制度と認定品については、長野市農業公社のホームページに掲載しています。認定品のロゴマークは、川村龍洲先生に揮毫していただきました。



(4) グリーン・ツーリズム推進事業

交流人口の増加による農村の活性化を図るため、都市住民の農作業体験、農家民泊等を促進する。

① 農作業体験ツアー

【内 容】 親子を対象にした農作業や食育体験ツアーの開催

【事業量】

令和3年度		
月 日	ツアー内容	参加者数
6月6日(日)	わくわく農業体験学習(信州新町) 淡竹収穫体験、竹の子料理体験	0人 (大人 0人) (子供 0人)
8月1日(日)	わくわく農業体験学習(戸隠・鬼無里) ブルーベリー・野菜収穫体験・箱善体験・松巖寺	29人 (大人 24人) (子供 5人)
11月28日(日)	わくわく農業体験学習(松代) 長いも掘りの体験、昼食・温泉体験	25人 (大人 22人) (子供 3人)
合 計 参 加 者 数		54人 (大人 46人) (子供 8人)

令和4年度		
月 日	ツアー内容	参加者数
6月12日(日)	わくわく農業体験学習(信州新町) 淡竹収穫体験、竹の子料理体験	20人 (大人 19人) (子供 1人)
8月24日(水)	わくわく農業体験学習(戸隠・鬼無里) 野菜収穫体験・箱善体験・松巖寺	人 (大人 人) (子供 人)
11月30日(水)	わくわく農業体験学習(松代) 長いも掘りの体験、昼食・温泉体験	人 (大人 人) (子供 人)
		20人

合計参加者数	(大人 19人) (子供 1人)
--------	---------------------

考 察	新たな参加者の募集に向けて、募集方法や実施時期の工夫を行ったが、新型コロナウイルス感染の拡大により春の1回のみの実施となった。
-----	---

② 長野市子ども夢学校受入れ協議会への支援

【内 容】小中学校等の長期宿泊体験活動や学習体験旅行等の受入れを進め、地域活性化を図るために設立した「長野市子ども夢学校受入れ協議会」と連携して事業を推進する。

【事業量】

受入れ組織名	令和3年度		令和4年度	
	受入校数(延)	受入人数	受入校数(延)	受入人数
鬼無里修学旅行受入れ実行委員会	1校	21人	1校	17人
大岡グリーンツーリズム倶楽部	0校	0人	3校	161人
信里食育体験民泊受入れの会	0校	0人	4校	168人
芋井農村民泊受入れの会	2校	85人	6校	359人
信更ふるさと民泊受入れの会	0校	0人	2校	8人
七二会農家民泊の会	0校	0人	3校	19人
信州新町民泊受け入れの会	0校	0人	3校	32人
若穂農家民泊の会	0校	0人	2校	89人
計	3校	106人	24校	853人
前年比	0%	0%	800%	805%
受入れ校数(実数)	0校		中学校23校、高校1校	

会議名	月 日	内 容
総会	4月15日(金)	事業及び決算報告、事業計画及び予算承認
第1回連絡調整会議	6月16日(木)	本年度事業の進め方の検討
第1回ワーキング会議	7月22日(金)	農家民泊事業の課題への対応策の検討
第2回ワーキング会議	9月2日(金)	農家民泊事業の課題への具体的対応策の検討
第2回連絡調整会議	10月26日(水)	農家民泊に関する課題への対応策の方向付け
第3回連絡調整会議	12月9日(金)	第10回農家民泊意見交換会内容検討 料金改定検討
第4回連絡調整会議	3月24日(金)	総会対策

考 察	コロナにより受入れ農家は消極的になっているが、受入れ意欲を維持するため、前向きな農家への働きかけで、少人数ではあるが一定の受入れができたが、コロナによる受入れ中止に伴い、キャンセル料が発生し、旅行会社と問題が発生した。また受入れ農家の発掘に向け取り組んだ結果、松代地区で新たに受入れの動きがあり、当面は若穂の会員として受入れを行い、近々に組織の立ち上げを行う。
-----	--

(5) 特産品開発・加工支援事業

【内 容】自家農産物や畜産物を利用した地域特産品の開発や加工等を支援し、農産物の生産拡大を図る。

【事業量】

令和3年度	令和4年度
-------	-------

計画	実績	計画	実績	前年比
2品	2品	2品	2品	100%

【支援商品】

令和3年度		令和4年度	
①梅のドレッシング	㈱BSG	①綿内産ふっこう豆腐	湯～ばれあ直売所の会
②よもぎ飴	マルサ工業㈱	②三升漬け	漬物工房とうふくじ

考 察	地元の特産物などを原料として使用し、付加価値を付けた加工品開発に対して支援を行った。
-----	--

Ⅱ 法人会計

1 社員総会・理事会

定款の規定に基づき、社員総会・理事会を開催する。

(1) 総会

【内 容】 定款第13条の規定による総会の実施

【回 数】 5回

【付議事項】 役員の選任・解任、事業計画及び収支予算並びに事業報告及び収支決算の承認等

① 5月18日(水) 定時社員総会(書面決議)

ア 令和3年度事業報告について

イ 令和3年度収支決算について

② 5月27日(金) 臨時社員総会(書面決議)

ア 監事の選任について

③ 7月29日(金) 臨時社員総会(書面決議)

ア 理事の選任について

④ 2月7日(月) 臨時社員総会

ア 令和5年度事業計画(案)について

イ 令和5年度収支予算(案)について

⑤ 3月31日(金) 臨時社員総会(書面決議)

ア 理事の選任について

(2) 理事会

【内 容】 定款第31条の規定による理事会の実施

【回 数】 4回

【付議事項】 業務執行の決定、理事の職務の執行の監督、副理事長及び専務理事の選定等

① 5月18日(水) 第1回理事会(書面決議)

ア 令和3年度事業報告について

イ 令和3年度収支決算について

ウ 賛助会員の承認について

② 11月28日(月) 第2回理事会

ア 令和4年度9月期事業執行状況について

イ 賛助会員の承認について

※報告事項

ア 農作業料金の改定について

③ 2月7日(月) 第3回理事会

ア 令和5年度事業計画(案)について

イ 令和5年度収支予算(案)について

※報告事項

ア 令和4年度12月期事業執行状況について

④ 3月31日(金) 第4回理事会(書面決議)

ア 事務局長の任免について

2 処務

公社の事務執行に伴う、会計処理、職員の福利厚生、事務処理等を行う。

(1) 職員福利

【職員】 正規職員 6人

(長野市派遣 3人、JAグリーン長野派遣 2人、JAながの派遣 1人)

嘱託職員12人、臨時職員 2人、パート職員199人(お手伝いさん)

派遣職員 3人

(2) 経理事務

【内容】 公益法人会計基準に基づく会計処理、事業実施に伴う事務処理等

Ⅲ 固定資産

固定資産の取得(新規購入、新築、増築、修理、取替)、売却及び廃棄処分等を行う。

(1) 基本財産

① 定期預金 500万円 (JAグリーン長野/JAながの)

② 有価証券1,475万円

(有)たんぼぼ 475万円/95口、(株)キラリ信更500万円/500株

合同会社裾花ていばん家 250万円/250口、クボ田ファーム(株)250万円/250株

(2) 特定資産 基本財産取得準備預金 1,075万円

(3) その他固定資産 車両器具